



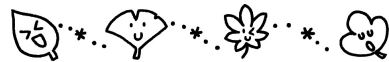
おもちつき

年末にするお餅つきは鏡餅を作るためと、お雑煮に入れる丸餅を作るための両方の意味があります。

「今年一年が幸せでありますように」と新年の歳神様をお迎えしてお祈りするために鏡餅を作ります。歳神様がお正月の間に落ち着く場所が鏡餅なのだそうす。丸餅には神様からの魂が宿り、生命力が与えられると言われている。昔からおめでたいときにはお餅つきをして、神様からの元気をいただいていたんですね。

杵とうすで「よいしょ～よいしょ～」とおじいちゃんおばあちゃんと一緒にお餅つきをしましょう。

後日プリントを配布します。たくさんの方のご参加お待ちしております。



冬至

一年で一番昼が短く、夜が長い日が冬至です。冬至の日にカボチャを食べたり、ゆず湯に入ったりすると、風邪をひきにくくなると言われています。寒くなるこれからの時季、体を温めて風邪に負けない強い体にしましょう。



異年齢の関わり

先日行われたみらいフェスタでは、たくさんの方にお越しいただきましてありがとうございました。バザーでのお手伝いもたくさんの方にご協力していただき感謝しています。晴天にも恵まれ、ホールでも園庭でも楽しく過ごしていただきました。

O、1歳クラスの親子制作は保護者の方々の愛情あふれる作品で、心が温まりました。2歳児クラスはいつもはひとりずつの絵を飾らせてもらっていますが、今回は自分で拾った自然物や様々な素材を使って、特にその子が集中して遊んだものを展示しました。子どもたちの興味関心は様々で、自分で選んで集中して取り組んだ作品はきらきら輝いていました。

ホールは幼児クラスで作った作品を展示し、遊べる会場となっていました。その作品は幼児クラスがたて割りでの活動で取り組んだ作品です。

たて割り保育はくまのみらい保育園が始まって12年間続けて取り組んでいます。朝と夕方の保育は毎日ですが、運動会前から週1回か2回、午前中の1時間たて割で過ごしています。

始めはいつもと違う部屋、たてわりの保育士に戸惑い、部屋に入ることも嫌がっていた年少さんもいました。年長さんが手を繋いだり、楽しいゲームをしたり、夕方の園庭で一緒に遊んであげたりしているうちに、今ではすっかり年長さんや年中さんに折り紙の折り方を教えてもらったりして、楽しく遊んでいます。年少さんで制作にあまり興味がなかった子が、たて割り保育で一緒に制作したことで興味を持ち、今ではお部屋でも自分で作ろうとしているんですよと言う話も聞きました。日ごろクラスでは見せない面を見せてくれた子どもも多く、内に秘めている力が引き出されるようです。

たて割り保育では、年齢の低い子にとっては、年上の子の活動を間近で見て、自分もやってみようという意欲が出たり、年上の子に憧れて自分もそうな

りたいと思ったりします。年齢の高い子にとっては下の子に尊敬の目で見られることで、自分に自信がついたり、相手をいたわったり、ちょっぴり我慢して、思いやりを持って接することができます。また、あそびの中で子ども同士のより良い対話が生まれ、考え工夫することが、粘り強くものごとに取り組む力が養われると考えています。自分で考えて行動する主体的な力や、問題解決能力も向上するのではないのでしょうか。そのことはいずれは小学校での学習に向かう力につながっていきます。保育士と子どもとの関係では育たない、縦の群れの中で育まれる力は素敵であると感じています。

みらいフェスタが終わってからも、「今日たてわり?」と聞いてくる子どもも多く、たてわり活動を楽しみにしてくれていたんだなと嬉しく思います。今後も引き続き遊んでいきたいと思っています。この活動を通して、いつでもどこでも誰にでも優しく関わられる、感謝と思いやりの持てる子、主体的に取り組める子、状況判断の出来る子になって欲しいと思っています。

保護者の皆様には、たくさんの廃材をもってきていただきまして、ありがとうございます。廊下を歩いている時も、「これいいね」と廃材を選んだり、「これで作ってもいい?」と大切そうに持っていく子どもいるくらい、廃材は子どもたちにとって魅力のあるもののようです。今後ともご協力のほど、よろしくお願ひします。これからも子どもたちが選択し集中できる環境作りを目指して、日々楽しい保育を展開していきたいと思っています。

あっという間に年末になります。これから、インフルエンザなど流行し始める時期になりますが、手洗い、うがいの励行、部屋の換気に気を配り、元気に12月を過ごしていきましょう。

くまの・みらい保育園 園長

子育てメッセージ

子は親の鏡



ハッピーの連鎖の

スタート地点になろう

- 寝てあげれば、
- 子どもは、明るい子に育つ
- 愛してあげれば、
- 子どもは、人を愛することも学ぶ
- 認めてあげれば、
- 子どもは、自分が好きになる
- 見つめてあげれば、
- 子どもは、頑張り屋になる
- 分かち合うことを教えれば、
- 子どもは、思いやりを学ぶ
- 親が正直であれば、
- 子どもは、正直であることの大切さを知る
- 子どもに公平であれば、
- 子どもは、正義感のある子に育つ
- やさしく、思いやりを持ってあげれば、
- 子どもは優しい子に育つ
- 和気あいあいとした家庭で育てば、
- 子どもは、この世の中はいいところだと
思えるようになる

大人としてできることは、子どもに良い環境を与えることであ。何か特別な関わりというより、それは、親の何気ない表情や振る舞いの中にあります。親が笑顔でいることも、そのひとつかもしれません。親自身がハッピーでいることが、子どもにハッピーな気持ちをもたらすかもしれません。



ロシー・オー・ルト・レイチャル・ハリス
「子どもが育つ魔法の言葉」より